

みらいん

たいはく

「みらいん」は、
震災からの復興に向けて
歩むまち・仙台の“ひと”と“地域”の
今を結ぶ情報紙です。

第 12 号



◀写真左より、
職員の奥山和樹さん、
代表の蓬田隆子さん、
職員の瀧井和子さん。
震災を共に乗り越えた
心強いスタッフです

今月の
ひと

畑を通して、利用者の地域交流を促す

グループホーム「なつぎ塾」の職員

地域とのつながりが、生活を豊かにしていくと思うんです

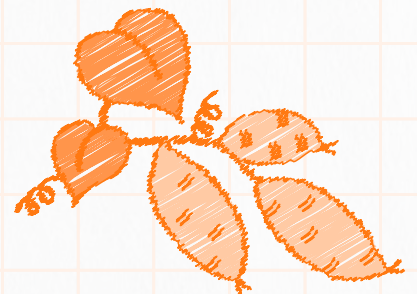
若林区種次に事業所を構えていた高齢者向けグループホーム「なつぎ塾」
3月11日の震災で被災し、あすと長町の福祉型仮設住宅に一時的に移転しています。

「普通に暮らすということが認知症の進行を緩やかにすることができるんですよ。
たとえ住む場所が変わっても、地域での暮らしの広がりを持たせたかったですね」
そう語るのは、なつぎ塾の代表である蓬田隆子さん。

種次にいた頃、畑づくりで地域とつながりを持っていたこともあり
蓬田さんは早速、仮設住宅の敷地内に畑をつくりました。

「畑の半分をあすと長町仮設住宅の方にお貸ししているんです。
なつぎ塾の畑も手伝っていただいたりしているんですよ」と、蓬田さんはほほ笑みます。
畑での作業中には、通りすがりの人も声をかけてくれるようになり、
今では、郡山在家町内会の催しにも参加するなど、交流の輪は広がっています。

「生活を提供することがグループホームの役割ですから、
今後も積極的に地域の方と関わっていきたいと思っています」
利用者の方々を思いながら、蓬田さんは意気込みを語っていました。



2012

11月

おいしいパンで地域の仲間に 白い館まちの工房まどか 授産施設(パン・クラフト商品)

若林区荒浜で被災▶太白区袋原で復活

住所 / 太白区袋原4-37-1
電話 / 022-302-4620
営業 / 平日 9:00~16:00 (LO15:30)
土曜 9:00~14:00 (LO13:30)
定休 / 日曜日・祝日
メニュー / アップルパイ(170円)、みかんぱん(160円)、和菓のモンブラン風(180円)ほか



「自分たちも津波被害から少しずつ再建しています。皆さんも少しずつ前へ進んでいきましょう」
(社会福祉法人 まちの工房まどか 毛利憲也理事長)



▲今年6月に完成した「まどか」の新施設。パンやクラフト品を作る作業場やカフェスペースを完備

被災前までは主に和菓子を生産していましたが、新施設ではパンづくりに挑戦。毎日50種類以上ものパンを販売中です。近々ケーキなどのスイーツも加わるとのこと。毛利憲也理事長は「これからもいろいろ挑戦し、地域に愛される施設になりたい」と抱負を語ってくれました。



▲焼きたてパンは大人気。オリジナルメニューは完売する日も

昔の“看板”で営業中 珍来 中華料理店

太白区長町で被災▶太白区長町南で復活



◀「お客さまにいつも感謝です」と話す、森とも子さんと誠弥さん親子

住所 / 太白区長町南4-16-2
電話 / 022-248-5067
営業 / 11:30~21:00 (平日15:00~17:00休憩)
定休 / 月曜日
メニュー / チャーシューメン(785円) 蒙古タンメン(735円)ほか



家族で切り盛りする中華料理店として古くから地元長町で愛されてきましたが、震災で店舗が全壊。幸いにも調理器具が無事だったため、すぐに移転を決意し、わずか1ヵ月で復活しました。昔の店舗は取り壊されましたが、大きな看板だけは持ってきて今も使用しています。

太白区でがんばる

震災から復活したお店!

東日本大震災で大きな被害を受け、閉店・閉鎖に追い込まれてしまったお店や施設が数多くある中、再建をあきらめずに幾多の苦難を乗り越え、太白区内に復活したお店や施設があります。今回はそんなお店の一部をご紹介します。どのお店も、皆さんを温かく迎えてくれます。

町中の“日常”を大切にしたい び〜わん 盛岡じゃじゃ麺・食堂

太白区長町で被災▶同地で復活



住所 / 太白区長町1-7-2
電話 / 022-247-3403
営業 / 11:00~20:30LO (平日15:00~17:00休憩)
定休 / 火曜日
メニュー / 盛岡じゃじゃ麺・並(580円) 鶏のから揚げ定食(650円) 餃子(5ヶ370円) ほか



▲「じゃじゃ麺以外の料理もあります。ご家族連れでもどうぞ」と呼びかける鈴木さん

「知っている店が突然なくなったら悲しいじゃないですか。地域の方に震災前と変わらない町並みがあることを感じてほしいと思い、同じ場所で復活しました」とほほ笑む鈴木輝行さん。建て替えの間は、あすと長町仮設住宅で暮らしていました。家族団らんが楽しめる食堂にするのが夢です。

閑上の味を絶やさない! 漁亭 浜や あすと長町店 海鮮料理店

名取市閑上で被災▶太白区あすと長町で復活



▲あすと長町店のほかにも、エスパル店や名取美田園さいかい市場店が新規営業中

津波で被害を受け閉店。一時は従業員もお店を離れましたが、店主・佐藤智明さんの「絶対に店を復活させる」という強い意志のもと、昨年8月あすと長町に再開第1号の店がオープン。休む間もなく働き続ける佐藤さんは「食を通じて、たくさんの人を笑顔にしたい」と語ります。

住所 / 太白区あすと長町1-4-30 S306
電話 / 022-748-4115
営業 / 11:30~14:30 17:00~23:00
定休 / 不定休
メニュー / 浜やの浜丼(850円) 鍋料理(時価) ほか



一歩ずつ前へ進んでいます 閑上 相澤鮮魚店 鮮魚店

名取市閑上で被災▶太白区西中田で復活

住所 / 太白区西中田7-23-20
電話 / 022-741-1088
営業 / 11:00~18:00
定休 / 日曜日・祝日
メニュー / 鮮魚(時価) お総菜(200~300円) ほか



▲JR南仙台駅の近く、東北新幹線の高架橋が目の前の住宅街にお店があります

まだローンが残っていた自宅兼店舗が津波で全壊。陳列台なども使用不能になりましたが、閉店するつもりはまったくなかったそうです。知り合いのついでで現店舗を紹介され、昨年7月に復活。季節の鮮魚のほか、手づくりのお総菜やお寿司などを日替わりで提供しています。



「とにかく一歩一歩」(店主・相澤道夫さん) 「皆さん、気軽に遊びにきてください」(相澤美和子さん)



▲季節の鮮魚がすずり。煮魚や佃煮などの加工品も豊富

1日(土) 東長町小学校バザー



東長町小学校でバザーが開催されました。あすと長町仮設住宅から、陶芸「あすと焼」の製作メンバーが初参加。多くのお客さんが足を止め、湯飲みや小皿などの作品を購入していました。

1日(土) 美味しそうな匂いにおなかペコペコ!



「築地銀だこ」と「Toshi Yoroi-zuka」の移動調理車がやって来ました。仮設住宅を漂う美味しそうな匂いに、どこからともなく「お腹減ったなやあ〜」との声。出来たてのたこ焼きとクレープに、住民の皆さんは舌鼓を打っていました。

16日(日) ペットクラブ集会

ペットクラブの集会が開かれ、代表の交代と物資支援の終了が発表されました。クラブでは今後もしつけ教室や仮設住宅内外のフン拾い活動を行い、マナー向上に努めていきます。

20日(木)

映画上映会とミニコンサート



ソーケングループの自社製作短編アニメ映画「嫌われ者のラス」が上映されました。上映後は、バイオリニストの西垣恵弾さん、ギタリストの岡市尚士さんによる演奏会が開かれ、2人の熱い演奏に涙を流す観客の方も。演奏会には仮設住宅集会所前職員の山田祥子さんのバンド「Laitos」も登場! 最後は全員でセッションし、会場を沸かせていました。

25日(火) かわいいモップ作り

みやぎ生協主催のふれあい喫茶で、毛糸のモップづくりが行われました。参加した方は毛糸を編み込んだり、モールをつけたり、アレンジを楽しんでいました。



25日(火) 写経で精神統一!



ほほえみ花活隊が開催している華道教室。この日は彼岸ということもあり、花を活けた後、皆で写経に挑戦! 集会所内に凛とした空気が流れました。

25日(火)

仮設カスタマイズに助っ人参加!



東北工業大学主催のカスタマイズカフェ。今回は長崎大学の学生10名も加わり、皆で縁台を製作しました。

26日(水) 白菜畑の草取り



東長町小学校につくった白菜畑の草取りを行いました。長町中学校の生徒も参加し、あっという間に終えた草取り。その後、お世話になっているお礼にと、チューリップの球根を皆で花壇に植えました。

29日(土)

皆で歌を歌いましょう



仙台合唱団が主催する歌声喫茶。童謡や歌謡曲などを皆で大合唱。童謡では、仮設住宅の子どもが踊りだし、参加者の方々は顔をほころばせていました。

29日(土) 仮設フラダンスチーム あすと長町を飛び出して大活躍!



あすと長町仮設住宅のフラダンスチームが、名取市植松入生団地仮設住宅で開催された尚綱学院大学ボランティアステーション主催の健康まつりに参加。踊りを披露すると、観客も手振りで踊りに加わり、「楽しくて元気をもらえたわ」と、笑顔を見せていました。

30日(日) 皆でダンス!

蛸薬師で行われた「長町病院友の会健康まつり」に仮設住宅のフラダンスチームが参加しました。司会者から「仮設住宅の美人ぞろいの皆さんです」と紹介されると、観客からは拍手喝采で迎えられ、「恋のマカレナ」では観客も交じって大きな輪を作っていました。

まちの語り場

集団移転、単独移転、現地再建…。沿岸部にお住まいの方は今、お住まいの再建に向けて地域ごとに話し合いを進めています。このコーナーでは、それぞれの団地で話し合われている内容についてお知らせします。

明日の三本塚を考える会 東六郷地区における農地と宅地の一体的な整備や住民主体のまちづくりを目指しています。

9月20日(木) 「三本塚の復興についての第一次要望書」を市へ提出

内容 ●三本塚町内会として要望書を提出

当日の様子 三本塚町内会の小野会長や役員、住民の方々が市役所を訪問し、鈴木復興事業監へ要望書を手渡しました。1. 現地再建にも地区内移転にも公平な支援を行うこと2. 現地の安全を確保し、住みやすい環境に改善すること3. 規模の大小に関わらず、専業も兼業も多様な農業経営ができる施策をつくり支援すること、この3項目について説明し東六郷地区の現状を訴えました。鈴木事業監からは「まちづくりは、市民が主体となって行政がサポートすることが基本です。仙台市として東部地域における施策の全体像を示しきれていないと考えており、浸水区域も含めた復興への具体的な取り組みについて早期に提示できるよう進めていきたい」との説明がありました。



▲市役所本庁舎で要望書を渡す小野代表

問い合わせ先:
代表 小野吉信 090-3122-4843
会議、学習会は自由参加、随時開催

南蒲生復興部



個々の生活再建と南蒲生の復興を迅速に進める為、移転・現地再建グループがそれぞれ話し合いを進めています。

◀「この意向調査によって、移転が良い方向へ進むといいなあ」と現地再建グループからも応援の声が上がりました

10月10日(水) 全体会および事務局会議

内容 ●意向調査の内容確認
●移転候補地案についての確認
●若者の会、女性の会で出された意見の紹介

当日の様子 町内の将来設計をより具体化していく為の意向調査について、質問項目の確認をしました。移転候補地それぞれの面積や造成宅地費については、あくまで概算であり、移転世帯数によっても価格が変動するとの説明がありました。代表からは「居久根再生の勉強会や、行政の局長クラスとの意見交換を開催予定。意向調査は10月26日が締め切りである」とのことでした。

問い合わせ先:代表 芳賀正 090-4042-9464
会合は随時開催
住民説明報告会(町内会定例会合同会議):毎月最終日曜日 岡田会館

新浜復興の会



新浜の新たなまちづくりを検討する現地再建グループと、上岡田・久保野地区への集団移転を目指す移転再建グループが、それぞれの復興を果たすべく活動しています。

◀新浜の現状図には、世帯ごとの現地再建、移転、検討中の意向が記されていました

9月29日(土) 第1回現地再建グループまちづくり検討会

内容 ●新浜現地再建状況の確認
●これまでのワークショップの意見・質問の整理

当日の様子 この日は、現地再建グループと新浜町内会役員が一堂に会する1回目の会合でした。当日の配布資料は、住民意向調査や世話人会からの意見をもとに、新浜の現状と将来像を図化したもの。これを叩き台に、12月を目標に市への要望書として練り上げることが確認されました。また、まちづくりの優先順位として防災に関する事項を最優先することも意思の統一が図られました。

問い合わせ先:代表 遠藤芳広 090-2020-4002
会合は随時開催

※記載している内容は、各開催日現在の情報です。最新の情報については各団体へお問い合わせください

読者から
ひとこと

●あすと長町仮設住宅の線路側に面した壁に描かれているイラストが、とても可愛くて気に入っています。窓が描かれていたり、ひさしにも模様があつたり、遊び心があつて、見ているだけでウキウキしちゃう。うちは中の方なんですけど、描いてくれないかなあ。 太白区/鈴木さん

若林区/佐藤さん

●少年野球の練習や友達との遊びで和田グラウンド(公園)にはよく遊びに来てる。十月の秋季大会が俺の小学校最後の公式戦。試合でも多く戦いたい。この前は市の選抜に選ばれてフル出場で四番だった。今後は高砂中で野球をやります。

宮城野区/小野大介さん

レポート・近所ぶらり

取材したのは...

仙台市野草園

広大な敷地に草木が茂る
戦災復興の緑のシンボル

広々とした芝生の向こうに繁る木々と草花。キンモクセイの甘い香りが鼻腔をくすぐります。十月初め、秋の趣でした。

まず驚いたのは、百万都市の真ん中にあるとは思えない静寂さ。時の経つのも忘れるような日常からの隔絶感に身をゆだね、園内を歩きます。子どもだったら思わず駆け出したくなるような緑のじゅうたんは「芝生広場」。ほかに「どんぐり山」「ハ



青々、広々の「芝生広場」。ピクニックを楽しむ家族の姿がありました



訪れた10月初旬はヒガンバナが盛り。緑の中に赤がよく映えていました

ギの滝」「彫刻広場」など、興味をそそるネーミングのスポットが続きます。ぐるっと一周は約一時間のハイキング。例年十一月はノコンギクやコハマギクなどが見ごろです。

開園は一九五四年。戦争の空襲で焼け野原となった仙台に緑を蘇らせようと、東北地方に自生する約千種類の山野草を集め、大年寺山緑地の一角に植えました。当時、雑草と見間違えるほどだった幼木も、今は見事な大樹。ほかの草花を含め、自然に近い姿を楽しませてくれます。園の出入り口の役割も果たしている拠点施設「野草館」は二〇〇八年に建て替えられました。野草園が毎年

十二月から翌年三月十九日まで冬休みになるのに対して、野草館は年末年始を除き通年開館。標本や押し花の展示会、冬はクリスマスリースづくりや草木染め教室など、一年を通して楽しめます。

心身を癒す力を宿した
自然の中でのんびり過ごす

「野草園は憩いの場。花の名前が分からなくても、自然の中を歩くだけで心が軽くなります」。案内してくれた職員の大友直実さんは話します。特に毎週土曜日は市民ボランティアの無料ガイド（予約不要）が人気です。

昨年の震災では大きな被害はなかったものの、開園は例年より約三週間遅れの四月九日まで延びました。ライフラインの復旧さえままならない時期。「こんなときの開園は不謹慎では」との葛藤もありましたが、むしろ「こういうときだからこそお客さんを迎えよう」と再開に踏み切ったそうです。



散策路脇で解説をしてくださる大友さん。時折ユーモアを交え楽しく案内してくれました

大友さんは言います。「被災した方の中には、街の賑わいをわずらわしく感じる人もいるかもしれません。そんな方こそ、野草園に足を運んでください。鳥のさえずり、風に揺れる葉音、花の香り…。震災で忘れていた自然を愛する感覚を取り戻してください」

心身を癒す不思議な力を宿した自然に、気軽に身を置くことのできる野草園。この号がお手元に届くころにはきっと、鮮やかな秋色をまとった木々が皆さんの来園を静かに待っていることでしょう。

「仙台市野草園・野草館」
住所：太白区茂ヶ崎 2-1-1
電話：022-222-2324
時間：9:00～16:45
(野草園は12月1日～3月19日閉園)
利用料：大人200円、小中学生50円
(野草館は無料)
アクセス：仙台駅から野草園行のバスで15分。
地下鉄は愛宕橋駅から徒歩20分

情報掲示板

仮設住宅やご近所で開催される催し物や相談会、支援団体による支援情報などを紹介します。

赤い羽根 地域ボランティア活動支援事業 第5次応募の受付を開始します

宮城県共同募金会では赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成事業として、東日本大震災被災地の地元住民グループなどによる被災者支援を目的としたボランティア活動を支援する助成金の第5次応募を受け付けます。

対象 宮城県で地元住民のグループなどによる、助け合い活動を行う住民団体やボランティアグループ、NPO法人など、県民5名以上で構成される非営利団体

対象事業例 ①引っ越し・片付け、見守り訪問などの生活支援活動

②季節の行事、住民交流などのサロン活動

③子どもの学習支援や一時預かりなどの子ども支援 など

配分金額 1団体1回につき10万円まで

応募受付期間 第5次応募：12月3日(月)～12月27日(木)必着。助成決定平成25年1月下旬

応募方法 各団体から市町村共同募金委員会を通じ申請します。仙台市内の団体は下記にお問い合わせください

☎ 022-223-2026

仙台市社会福祉協議会地域福祉課地域福祉係

だるまプロジェクトに参加しませんか

ボランティアグループ「若林ヘルプ」では、被災された方の就労支援「だるまプロジェクト」を行っています。この企画は、だるまづくりの基礎となる技術を習得していただいた後に販売用のだるまをつくり、売上の70%強を製作者にお支払いするものです。年齢・性別を問いませんので、少しでも興味のある方は是非だるまづくりに参加してください。

対象 仮設住宅(借り上げ民間賃貸住宅、社宅などを含む)にお住まいの方ならどなたでも

費用 無料(練習場所までの交通費は自己負担)※材料費などは南アルプス市若草町おこし協同組合から提供

時 11月22日(木)、23日(金・祝)13:00～16:00

場所 若林区河原町1-2-51 ワコースーパー河原町店2階

募集人数 2日間でのべ30名

申込方法 電話かEメールで参加希望者の住所、氏名、年齢、電話番号、メールアドレスをお伝えください

申込締切 11月15日(木)

注意事項 ①1日のみまたは両日、いずれでの参加も可能です②練習の段階での報酬は支払われません

☎・申 070-6496-0963 若林ヘルプ(高橋/月～金曜日13:00～19:00) Eメール:wakahelp.takahashi@gmail.com

支えあいセンターからのお知らせ

借り上げ民間賃貸住宅(以下、みなし仮設)にお住まいの方を支援する支えあいセンター主催の、おすすめサロン・イベント情報です。すべて参加無料。

サロン・イベント名	対象	時	時間	会場	内容	申込	問い合わせ
第2回みやぶくサロン	塩釜市、七ヶ浜町、多賀城市、名取市、岩沼市、亘理町、山元町、福島県で被災された方	11月8日(木)	10:00～12:00	若林区中央市民センター別棟	笑う門には福来るお笑い講演とお茶飲み交流会	要(電話)	支えあいセンター わかばやし 022-781-0559
折り紙&茶話会	台原コミュニティセンター周辺にお住まいの方ならどなたでも	11月15日(木)	10:00～12:00	台原コミュニティセンター	折り紙づくり(講師/折り紙コスモスグループ)	不要	支えあいセンター あおば 022-217-7234
体を動かそう	福島県から避難された方	11月15日(木)	10:00～12:00	泉区中央市民センター	皆で体を動かすサロン	不要	支えあいセンター いずみ 022-772-5755
お茶っこ交流会	宮城野区中央市民センター周辺にお住まいのみなし仮設の方	11月17日(土)	10:00～12:00	宮城野区中央市民センター	クリニカルアートで作る年賀状	要(電話)	支えあいセンター みやぎの 022-292-0990
ぴ〜ちサロン	福島県から避難された乳幼児のいる世帯	11月28日(水)	10:00～12:00	富沢市民センター	同郷茶話会、アロマで「にこ袋」作成、ハンドトリートメント(希望者)	要(電話)	支えあいセンター たいはく 022-217-7234

※その他の交流サロンについては、支えあいセンターからのダイレクトメールでご確認ください

あすと長町仮設住宅イベント(会場はすべて仮設住宅集会所) ※下記以外にもさまざまな催しがあります

日時	イベント	対象	問い合わせ
11月7日(水) 13:00～16:00	糸あそびの会	仮設住宅入居者	色業工房 090-9072-2160(庄子)
11月21日(水) 13:00～16:00			
11月8日(木) 13:00～15:00	押し花アート	仮設住宅入居者	押し花アート幸の会 022-225-0424(浅倉)
11月8日(木) 18:30～21:00			
11月23日(金・祝) 13:00～16:00	陶芸教室 ※材料費1000円 事前申し込み不要	仮設住宅入居者	陶芸愛好会 090-4633-0331(渡邊)
11月13日(火) 10:30～12:00	仙台ほっとカフェ	仮設住宅入居者	仙台的のちの電話事務局 022-718-4401
11月13日(火) 13:30～15:30			
11月14日(水) 13:30～15:00	遊びリレーション みんなで生き生きレクリエーション	仮設住宅入居者	太白区レクリエーション協会 090-5594-5008(中島)
11月28日(水) 13:30～15:00			
11月16日(金) 10:00～12:30	ひまわり回収 人形劇	仮設住宅入居者	人來田生活学校 022-244-5236(高橋)
11月20日(火) 13:00～16:00	手芸教室(ストール作り) ※11月8日(木)まで、要申し込み ※材料費2000円	仮設住宅入居者	仙台市郡山老人福祉センター 022-308-5332(担当:千葉)
11月21日(水) 10:30～11:30	ふれあい喫茶	仮設住宅入居者	みやぎ生協 仙塩ボランティアセンター 022-218-3880
11月27日(火) 13:00～16:00	華道部	仮設住宅入居者	ほほえみ花隊 090-4643-7499(鈴木)

けんいん くらむ

からだ編
食感のことば・・・
日本語は少ないの？多いの？

おせんべいを食べた時に「ぱりぱり」「サクサク」とお口の中でおいしい感覚が広がります。これが『食感』で、歯を支えているセンサーが感じとります。この食感はいろいろなことであらわされますが、多くは擬音語や擬態語からなりオノマトペともいわれます。

世界のいろいろな国でこの食感のことばの数はどれくらいあるのでしょうか？料理で有名な国のフランス語で二百二十六語、中国語で百四十四語、ドイツ語が百五語、なんと英語は七十七語となっております。これらと比べると日本語は少ないのでしょうか？多いのでしょうか？なんと四百四十五語あり食感に関することばは非常に多いのです。驚きです！日本の食生活のなかに食感が深く関わっていることがわかります。

甘み、塩み、苦み、酸っぱみ、うまみと味を感じますが、ただ味だけを感じている食事はおいしくありません。この五味に食感加わって初めておいしい！と感じます。まさに第六の味覚といえます。よく噛むことは食を豊かにします。お口と歯から始まる健康生活はじめてみませんか。

旭ヶ丘ジュン歯科 歯学博士 柏崎 潤

柏崎 潤 (かしわざき じゅん)

日本睡眠学会認定歯科医、クリニック内で『ジュン先生の歯楽教室』を開催するなど、歯と健康に関するトータルアドバイザーでもある。ホームページ <http://www.junshika.jp/>

クロスワードパズル

出題
石田竹久

こたえ

A	B	C	D	E
---	---	---	---	---

1	2		3		4	
5			6		E	
		7			8	9
		A				
10	11			12		
	13			14		
15				16		17
B				C		
		18			19	D

タテのカギ

- ①これからの時期、漬け物や鍋に最適。「松島純二号」などの品種で知られ、地元を中心に消費される仙台〇〇〇〇
- ②宮城県が全国トップクラスの生産を誇る野菜で、仙台〇〇鍋の名で食されたりします
- ③スポーツなどで、次のシーズンのこと
- ④〇〇〇〇期は、農作業がひまな時期
- ⑦テレビや加湿器など、自宅で使う電気器具
- ⑨かつて八甲田やムーンライト仙台などの〇〇〇列車が走っていました
- ⑪日本古来の数学
- ⑫これから、おへそくを作る家庭も多いことでしょう。やがて〇〇〇祭で焼くのが、おなじみのならわし
- ⑭宮城県庁には、〇〇〇と暮らしの安全推進課があります
- ⑮種類が多々ありますが、仙台市に納めるのは、市民〇〇や固定資産〇〇など
- ⑰ことわざ。〇〇から出たまこと

ヨコのカギ

- ①江戸初期の仙台藩士、支倉常長。苗字の読みは？
- ④〇〇の養殖の北限にあたる三陸。11月から乾燥、加工が急ピッチに
- ⑤和の甘味の名物、鳴子温泉の〇〇だんご
- ⑥ひろせ号、わかば号などは、仙台市の〇〇〇図書館
- ⑦11月23日は〇〇の日。三陸を代表する冬の海の幸です
- ⑧〇〇の外といえば、部外者の立場に置かれること
- ⑩11月23日～25日、大崎市の〇〇〇山地域で、バルーンフェスティバルが開かれます
- ⑫白身で独特の見た目。〇〇〇汁はこれらが旬
- ⑬7月のリトルリーグ全国大会で、西山中の伊藤投手が6回を完全試合、しかも全打者から〇〇〇〇を奪って話題に
- ⑮ことわざ。〇〇は急げ
- ⑯野党の反対語
- ⑰ことわざ。笑う門には〇〇来たる
- ⑱自分の両親の母親

前回のこたえ

A イ B モ C ニ D カ E イ
でした。

1	2	3	4	5
オ	ト	イ	リ	ア
6	7	8	9	10
タ	ホ	テ	イ	マ
11	12	13	14	15
キ	ク	リ	ト	ウ
16	17	18	19	20
シ	コ	レ	エ	ニ
21	22	23	24	25
カ	マ	エ	モ	ド

編集後記

今回の特集で取材したお店は、いずれ劣らぬ名店ぞろい。すべての魅力を紙面で伝えきれないのが残念です。もし気になるお店があれば、一度外に出て直接足を運んでみませんか。(さいとう)
1つ年を取り、アラサーと呼べる年齢になりました。しかし、見た目が子ども、頭脳も子ども、身体機能は初老間近といった体たらく。自分のギャップに悩まされる今日このごろです。(あつみ)

お住まいを移転される方へ

お住まいを移転されると、移転先に「みらいん」が届かなくなる可能性があります。引越後も引き続き購読を希望される方は、編集部までご一報ください。
宛 先：〒984-0011 仙台市若林区六丁の目西町2-12 「みらいん」編集部
TEL：022-390-5755
FAX：022-390-5756 e-mail：kawara@mwww.or.jp